

## ながの とびっくラン in わかほ

### 取組に至る背景・事業の目的

長野市南東部に位置する若穂地区は市の中心部から離れており、長野電鉄屋代線が廃止されるなど地域全体の活力が失われつつある。

そこで地域住民が一体となって自分たちの地域を盛り上げようと、近年人気のあるマラソン競技に着目し、若穂地区を舞台にしたマラソン大会を開催することにした。

地域住民の健康意識を高めるとともに、地域外からのランナーを積極的に受け入れることで、若穂地域の知名度を高め、地域活性化へ繋げていくことを目指す。

### 事業内容

- 「ながの とびっくラン in わかほ」の開催  
平成 25 年 11 月 4 日に若穂地区を舞台にし、16km、10km、3 km、1.5km の 4 つのコースで実施した。
- 地元をはじめ県内外から 1,505 人の申込みがあり、当日は 1,330 人の参加と 460 人のボランティアで開催された。
- 若穂のおもてなしとして住民総出で、りんご・ぶどう・なし等の特産物で歓迎した。



【大会の様子】

### 事業効果

- 地元だけでなく、県内外から多くの参加があり、地域の地名度UPに繋がった。
- 若穂地域の3地区（綿内、川田、保科）を走ることにより、それぞれの住民が総出で応援を行い、地域の一体感と賑わいが創出できた。
- 地元小中学校の全面的な協力が得られ、選手としての参加のほか中学生のボランティアが主会場で活躍するなど、地元住民総出のおもてなしが、参加者の高い評価を得た。
- 小学生低学年以下の親子で1.5kmを走るファミリーランを設定し、子供から高齢者までの参加を得たことで、住民の健康意識の向上が図られた。



【おもてなしの様子】

### 工夫・苦労した点、課題、今後の取組など

- 将来的には長野電鉄旧屋代線の線路敷きをコースにするとともに、ハーフマラソンまで規模を拡大するため、本年度の課題である交通規制の徹底や一部コースの見直しなどを検討していく。
- 引き続き地域の地名度の向上、活性化を図るため、住民総出のおもてなしに取り組む。

#### 【選定のポイント】

子どもから高齢者まで幅広い年代の住民及び地域外からも多くの参加者を集め、地域一体となってマラソン大会を開催することで、地域住民の健康意識の醸成が図られるとともに、若穂地区の知名度の向上による地域の活性化が期待できる。

団体名 ながのとびっくラン in わかほ実行委員会 連絡先 050-3583-5881 (長野市) メールアドレス wakaho.j@grn.janis.or.jp ホームページ http://tobicrun.jp/	事業タイプ ソフト事業 事業費 9,003,536円 支援金額 702,000円
--	--